

2023年度

学校法人トラベルジャーナル学園

事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

#### ○学園理念

本学園は、基本理念を「ホスピタリティ」に置きグローバルな教育サービス事業の展開を通じて地球社会の平和と繁栄に寄与します。

#### ○教育目標

1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育  
「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。
2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育  
職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、企業等との連携を通して習得する。
3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育  
時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を習得する。
4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育  
環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

### (2) 学校法人の沿革

- 1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校
- 1975年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる
- 1977年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる
- 1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、  
トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める
- 1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校  
太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる
- 1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる
- 1986年 大阪府より専修学校として認可され、  
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める  
アメリカにシアトル校開校
- 1990年 夜間部旅行本科開設
- 1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる  
海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる
- 1992年 オーストラリアにメルボルン校開校
- 1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更
- 2001年 東京日本語文化学校開校  
(公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる
- 2002年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

- 2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更  
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更  
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更
- 2011年 大阪ブライダル専門学校開校
- 2012年 オーストラリアのメルボルン校閉校
- 2013年 東京ブライダル専門学校開校  
 東京日本語文化学校閉校
- 2018年 大阪ホテル専門学校開校  
 大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校
- 2019年 台湾に台北校開校

(4) 学校・学科等の学生数の状況 (2023年4月現在) (単位：人)

学校名・学科名	入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	観光科	40	80	1年 11 2年 20 小計 31
	ホテル科	60	120	1年 40 2年 52 小計 92
	テーマパーク科	60	120	1年 53 2年 42 小計 95
	総合英語科	20	40	1年 16 2年 8 小計 24
	エアライン科	80	160	1年 51 2年 51 小計 102
	鉄道科	40	80	1年 50 2年 49 小計 99
東京ブライダル 専門学校	ブライダル科	120	240	1年 122 2年 73 小計 195
小計		420	840	1年 343 2年 295 小計 638

ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	100	200	1年 59 2年 47 小計 106	
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	140	280	1年 135 2年 66 小計 201	
	<夜間部>※1 ブライダル学科	-	40	1年 - 2年 12 小計 12	
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	150	300	1年 87 2年 68 小計 155	
	<夜間部>※1 ホテル学科	-	60	1年 - 2年 15 小計 15	
大阪テーマパーク・ ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	80	160	1年 89 2年 64 小計 153	
	<夜間部>※1 テーマパーク学科	-	40	1年 - 2年 15 小計 15	
小 計		470	1,080	1年 370 2年 287 小計 657	
アメリカ・台湾 留学中	東京	-	-	30	
	大阪	-	-	24	
合 計				1年 713 2年 582 留学中 54 合計 1,349	

※1. 1年生の募集を停止した学科

(5) 施設等の状況

①主な施設設備の状況は次のとおりである。

【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m <sup>2</sup>	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m <sup>2</sup>	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	569.73 m <sup>2</sup>	1,432,553,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m <sup>2</sup>	1,434,105,000 円	
大阪校3号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m <sup>2</sup>	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原 35-2 他	3,279.00 m <sup>2</sup>	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-417	56.65 m <sup>2</sup>	4,158,256 円	
御殿場敷地	静岡県御殿場市東田中 1512	7,175.80 m <sup>2</sup>	264,660,681 円	
合計		13,106.54 m <sup>2</sup>	6,640,557,466 円	

【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校A館	3,994.75 m <sup>2</sup>	1,224,373,236 円	
東京校B館	1,149.58 m <sup>2</sup>	426,482,096 円	
大阪校1号館	3,063.63 m <sup>2</sup>	978,227,658 円	
大阪校2号館	2,520.04 m <sup>2</sup>	473,406,033 円	
大阪校3号館	2,894.79 m <sup>2</sup>	465,472,494 円	
湯河原	76.76 m <sup>2</sup>	25,727,275 円	
御殿場	3,599.72 m <sup>2</sup>	740,286,632 円	
構築物		143,927,397 円	
合計	17,299.27 m <sup>2</sup>	4,477,902,821 円	

【収益事業用土地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	229.00 m <sup>2</sup>	92,854,868 円	
ドミール City 東中野Ⅱ	東京都中野区東中野 3-13-11	416.53 m <sup>2</sup>	669,602,362 円	
コーケン関内ビル	神奈川県横浜市中区南仲通 1-5-1	403.56 m <sup>2</sup>	335,450,000 円	
合計		1,049.09 m <sup>2</sup>	1,097,907,230 円	

【収益事業用建物】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
ドミール City 東中野	東京都中野区東中野 4-6-6	1,127.06 m <sup>2</sup>	137,071,952 円	
ドミール City 東中野Ⅱ	東京都中野区東中野 3-13-11	1,726.26 m <sup>2</sup>	678,414,660 円	
構築物			1,209,093 円	
合計		2,853.32 m <sup>2</sup>	816,695,705 円	

## 2. 事業の概要

### ～東京～

#### (1) 教育の実績

##### 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校】

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、引き続き、各科に特化した「業界英会話」を実施しています。全科の学生が放課後に自由に参加できるアフタースクールにて英会話、TOEIC を実施し、更に一部の学科は毎日 30 分のオンライン英会話も実施して英語力の強化を図っています。

また、一人ひとりの個性を尊重し、多様性・国際感覚を育む教育を推進しており、この方針に基づき全科の共通科目として、各業界や日本・世界のホスピタリティ・SDGs を学ぶ「ホスピタリティ・SDGs 研究」、少人数オーダーメイド式学習法を取り入れて個々の得意なことを探究する「ビジネスプレゼンテーション (BTS)」を実施しています。さらに、東西校のカリキュラムの完全共有化により、学生の学びの質向上に取り組みました。

##### [企業との連携や課外活動等]

- ① 新入生に対して実施するホスピタリティ研修では、業界ごとに企業訪問を行い、学生が将来進む業界で働くイメージをより持つことができました。
- ② 全科で企業実習を実施し、実務経験の獲得として企業の実務現場で活動し、専門知識を実践的に活用する機会を得ました。これにより、理論だけでなく実務でのスキルや知識を身に付けることができました。また、実践的な問題解決能力の磨き上げとして実務現場で発生する様々な問題に対処し解決する、実践的なスキルを習得することができました。
- ③ 公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター様にご協力いただき、全科でパラスポーツ体験会を行いました。パリ 2024 パラリンピック出場を目指すパラ・パワーリフティング選手の講演会「障がい者のリアルからみなさんの業界に合わせたコミュニケーション方法を学ぶ」を聴講し、全員でボッチャ競技を体験しました。これにより、障がい者の方への対する理解が深まり、支援の大切さを学びました。

##### <観光科>

9月に旅程管理実務研修として、株式会社ツーリズムエキスパーツ様にご協力いただき、添乗員の資格を取得するための研修(羽田イノベーションシティ、羽田空港第3ターミナル見学)を実施しました。添乗員の誘導方法などを学び、添乗員としての実務に触れ、職業選択の参考や職業観が深まりました。

##### <ホテル科>

1年生全員がホテル企業で、夏休み・冬休み期間に、それぞれ企業実習を行いました。現場実習を通して、職業観の育成や企業理解を深めることができ、就職活動の準備となりました。公開授業においては26社50名の方に来校頂き、就職活動を前に学生と企業の貴重な交流の場となりました。

##### <テーマパーク科>

2年生が成果発表として株式会社花やしき様にて学生の企画したイベントの運営を行いました。当日は多くの来園者の方にご参加いただき、イベント運営の流れを実体験で

学ぶ事が出来ました。1年生全員がテーマパーク企業17社で、夏休み・冬休み期間にそれぞれ企業実習を行いました。複数の企業で実習を行う事で、企業ごとの業務内容、客層の違いを知り、就職活動の参考とする事が出来ました。

#### <エアライン科>

株式会社 JAL スカイ様や JAL 安全啓発センター様、ANA ブルーベース様を訪問し、お客様から見えない部分を見学することができ、目指す業界の理解が深まりました。1年生が12月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト(グランドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト)を実施しました。航空会社の人事、訓練部の方々(10社12名)も審査員として参加いただき、客観的な評価をいただきました。

#### <総合英語>

1・2年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。英会話スクール講師やクルーズ会社より審査員を招待し、さらに Youtube で保護者や教員の方に配信し、留学前後のレベルアップを感じていただき、高評価をいただきました。

#### <クルーズコース>

クルーズ企業からの講師派遣を受け入れし、クルーズ業界の理解、職業観の育成を行いました。また課外活動として郵船クルーズ株式会社様の「飛鳥Ⅱ」乗船見学を実施しました。

#### <鉄道科>

1年生が、4月より鉄道会社13社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しました。10月には、東日本旅客鉄道株式会社総合研修センター様のご協力のもとに鉄道安全体験研修を行いました。就職に向けて安全への意識を高めることが出来ました。

### 【東京プライダル専門学校】

ホスピタリティ ツーリズム専門学校同様、グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、引き続き、プライダルに特化した「業界英会話」を実施しています。また、一人ひとりの個性を尊重し、多様性・国際感覚を育む教育を推進しており、この方針に基づき、各業界や日本・世界のホスピタリティ・SDGsを学ぶ「ホスピタリティ・SDGs 研究」、少人数オーダーメイド式学習法を取り入れて個々の得意なことを探究する「ビジネスプレゼンテーション (BTS)」を実施しています。さらに、2年間で4つの成果発表を通して、課題解決力、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- ① 企業実習説明会を行い10社にご参加いただきました。説明会では質問を通じて企業の担当者に直接情報を求めることができ、同時に企業側も学生の関心や質問に応えることで相互理解を深めることができました。
- ② 企業の人事担当者の方(11社14名)をお招きし、人財活用セミナーを実施しました。企業が直面している課題を事前にヒアリングし、企業の垣根を越えたグループを構成し意見交換を行いました。課題の明確化と専門学校が取り組むべき教育内容

を検討することができました。

- ③ 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ様と連携し、第一線で活躍されている社員の方を講師として派遣していただき、毎週1回、放課後に特別授業を実施しました。生の現場の話や結婚式の魅力、プランニングについて実践に即した内容を直接指導いただくことで、学生の業界への理解を深めることができました。
- ④ 成果発表「模擬人前挙式(1年生)」「バーチャルウェディング(1年生)」「セールススキルコンテスト(2年生)」を実施しました。成果発表「リアルウェディング(2年生)」では実際の新郎・新婦様を対象とした結婚式を3組挙行了しました。

(2) 主な資格の取得実績 (2校合計)

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	12名
みんなの外国語検定シルバー	25名
みんなの外国語検定ブロンズ	246名
TOEIC 900点以上	3名
TOEIC 800点以上	5名
TOEIC 700点以上	6名
TOEIC 600点以上	18名
TOEIC 500点以上	23名
全国手話検定4級	73名
手話技能検定4級	116名
サービス介助士	85名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	33名
レストランサービス技能検定3級	29名
フォーマルスペシャリスト検定準2級	40名
ブライダルコーディネーター技能検定3級	109名

(3) 奨学金の実績 (2校合計)

【2023年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 31名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度
- ② 指定校推薦入学選考 66名  
指定高校からの推薦入学生に対する奨学金
- ③ AO入学選考 254名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ AO選抜生制度 27名  
AO合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 45名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度

⑥ 家族推薦奨学金 18名

入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 30名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

私費外国人留学生学習奨励費：1年生 7名、2年生 6名

日本語資格取得奨学金：1年生 3名

(4) 就職の実績

新型コロナウイルスや企業業績の影響による採用人数の減少、厳選採用に対処すべく、学内での就職セミナーを実施しました。また、オンラインを含めた学内説明会やWEB面接対策などを実施し、学生ごとに指導方法を変えて、より個に特化した指導の強化に努めました。

	ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校	東京ブライダル 専門学校
就職希望者数	232名	85名
就職決定者数	232名	85名
内 関連業界就職者	198名	79名
その他業界就職者	34名	6名

(5) 学生募集 (2024年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
エアライン・鉄道・ホテル・ テーマパーク専門学校東京	エアライン科	80名	60名	75.0%
	鉄道科	40名	37名	92.5%
	ホテル科	60名	51名	85.0%
	テーマパーク科	60名	47名	78.3%
	旅行科	40名	11名	27.5%
	総合英語科	20名	11名	55.0%
	小 計	300名	217名	72.3%
東京ブライダル専門学校	ブライダル科	120名	133名	110.8%
合 計		420名	350名	83.3%

(6) その他

- ① 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進）」として、400千円（1校200千円）を受給することができました。
- ② 職業教育の質の向上を図り、多くの専門人材を育成する教育の推進を目的とした「私立専修学校職業実践専門課程推進補助金」として、2,695千円を受給することができました。（ホスピタリティ ツーリズム専門学校 観光科/ホテル科/エアライン科/テーマパーク科、東京ブライダル専門学校 ブライダル科）
- ③ ブランドUSA様が実施したアメリカ旅行の販促アイデアコンテスト「ゴールド・ラッシュ：ブランドUSAマーケティング・チャレンジ」学生部門で観光科生がグランプリを受賞しました。（ホスピタリティ ツーリズム専門学校）

## ～大阪～

### (1) 教育の実績

#### 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪】

変革が続く観光業界で求められる資質と能力の育成に向け、専門性の高い職業教育と、人間性の涵養を目的とするカリキュラムを提供し、職業観の形成と人間力の向上を目指した教育を実施しました。職業教育として、企業や行政機関のご協力を得た産学連携プログラムや、業界人講演、企業研修を全科で実施し、実践型教育を展開しました。

#### [企業との連携や課外活動等]

##### <旅行科>

一般社団法人全国農協観光協会様、JA 紀の里様との産学連携により、和歌山県紀の川市の地域おこし・町づくりを目的とした現地視察やツアー企画立案に取り組み、企業様へのプレゼンテーションの機会をいただきました。地域観光における現状や課題、魅力について深く学ぶ授業となりました。

##### <鉄道サービス科>

東日本旅客鉄道株式会社総合研修センター様、西日本旅客鉄道株式会社社員研修センター様にて安全研修を実施いただき、鉄道業界における安全管理の重要性と、鉄道職員の役割について深い学びを得ました。

##### <エアライン科>

ANA 関西空港株式会社様のご協力のもと、業界が求める新たなサービス（お客様も係員もワクワクできる新たな施策）について企業様へ提案する機会をいただきました。業界の視点で物事を考え考察を深める貴重な機会となりました。

#### 【大阪ブライダル専門学校】

企業の協力を得た産学連携プログラムによる職業教育と、人間力を磨く教育を柱としたカリキュラムを提供しました。職業教育では、マルチタスクの必要性の高まりにより、職種に偏らない幅広い知識と柔軟性を養いました。コロナ禍で結婚式の価値が見直されたことを背景に、人物重視のカウンセリング力の向上を身につけさせる指導を行いました。

#### [企業との連携や課外活動等]

- ① 株式会社テイクアンド・ギヴ・ニーズ様の会場をお借りして「ブライダル発表会」を実施し、ブライダル企業 24 社 38 名の方にご来場いただきました。衣装制作からモデル選び、照明やBGMまで総合的なプロデュースを行い、ドレススタイリングショーを展開しました。企業様から投票とフィードバックをいただき、2年間の集大成として深い学びを得ました。
- ② 株式会社クレ・ドゥ・レーヴ様との産学連携により、ブライダルフェアの企画・提案・プレゼンテーションを行いました。現役ウエディングプランナーの方に審査いただき、現場の現状や最新トレンド、お客様のニーズを学び満足度の高い授業となりました。

## 【大阪ホテル専門学校】

「おもてなしのプロフェッショナル」育成の基盤となる汎用的能力の向上を目的とし、ホスピタリティ科目、産学連携科目に『ICT×アクティブラーニング』を活用したプロジェクト型教育を実施しました。また、企業と連携を図った長期間の現場実習を通して、職業観を育む教育活動に取り組みました。

### [企業との連携や課外活動等]

- ① ホテルニューオータニ大阪様と連携し、大阪万博でのコラボ企画の立案からプレゼンテーションを行いました。学生らしい斬新なアイデアと工夫を凝らしたプレゼンテーションに、高い評価をいただくことができました。
- ② ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様との連携授業では、情熱大陸に出演されたコンシェルジュをお招きしました。「ホテルコンシェルジュの極意」を学んだ後、学生がホテルスタッフ役となり、大阪観光プランを提案する機会をいただき、コンシェルジュの役割、重要性を学ぶことができました。
- ③ レストランプロデュースを学ぶ授業では、ANA クラウンプラザホテル大阪様の料理長に全面協力をいただき、レストランを一から創り上げる授業を展開しました。メニュー作成からサービス、調理まで料理長から直接ご指導いただくことができ、おもてなしの極意を学びました。
- ④ グランドプリンスホテル大阪ベイ様とタイアップした「ホテルマナー研修」では、宿泊体験、業界人講演、施設見学、宴会実務、テーブルマナー講習等の研修を通じて、お客様・スタッフの双方の立場から、ホテルの仕事について学びました。

## 【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

テーマパークスタッフ科では、学生の主体性とオーナーシップマインドの醸成を目的に、グループワークやディベートを重視したカリキュラムを提供しました。また、豊かな表情や、感情表現の手法を体得するため、表現力を育む授業を展開しました。

ダンス・エンターテイナー科では、人前でのパフォーマンス回数を増やし、学生自身で課題を見つけ改善を促すことで、心技体の向上に結び付けることができました。

### [企業との連携や課外活動等]

#### <テーマパークスタッフ科>

- ① 鈴鹿サーキット・レゴランドジャパン様の施設見学会を実施し、人事担当者や卒業生による会社説明会を開催しました。先輩からの体験談を通して、テーマパークで働く意義や、細かな業務内容を把握することができました。
- ② LEGOLAND Japan 合同会社様他、計 8 社 20 名の企業様を学内に招き、テーマパークでのホスピタリティを体現するスキルコンテストを開催しました。日頃授業で学んでいる表現力を活かし、心のこもったサービスを披露することができ、高い評価をいただくことができました。

#### <ダンス・エンターテイナー科>

- ① 鈴鹿サーキット様とタイアップし、鈴鹿サーキットのエンターテイメントショーに出

演しました。プロと同じステージに立ち、お客様の前でのパフォーマンスを経験することで、魅せる喜びと難しさを学ぶ有意義な機会となりました。

- ② 名古屋アンパンマンこどもミュージアム様の閉演後のステージにて、学生が企画したダンスショーを披露し、現役エンターテイナーの方々にフィードバックをいただきました。また、現役ステージプロデューサーの方から、オーディションに向けた指導をいただくことができました。

(2) 主な資格の取得実績 (4校合計)

資格名称	取得者数
みんなの外国語検定ゴールド	12名
みんなの外国語検定シルバー	34名
みんなの外国語検定ブロンズ	220名
TOEIC 900点以上	2名
TOEIC 800点以上	2名
TOEIC 700点以上	4名
TOEIC 600点以上	5名
TOEIC 500点以上	5名
全国手話検定3級	13名
全国手話検定4級	72名
全国手話検定5級	26名
サービス介助士	37名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	71名
レストランサービス技能検定3級	31名
サービス接客検定2級	26名
アマデウスシステム検定 Specialist	6名
総合旅行業務取扱管理者	2名
国内旅行業務取扱管理者	2名
ビジネス能力検定ジョブパス3級	58名
ブライダルコーディネーター技能検定3級	103名

(3) 奨学金の実績 (4校合計)

【2023年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度 29名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考 13名  
指定高校からの推薦入学生に対する奨学金
- ③ AO入学選考 336名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金

- ④ AO選抜生制度 29名  
同選抜において優秀なプレゼンテーションを行った入学生に対する奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度 59名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金 5名  
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

【アメリカ・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金 24名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年生 1名

指定校推薦入学選考：1年生 1名

日本語資格取得奨学金：1年生 1名、2年生 1名

私費外国人留学生学習奨励金：1年生 6名、2年生 8名

(4) 就職の実績

	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	大阪 ブライダル 専門学校	大阪ホテル 専門学校	大阪テーマ パーク・ダンス 専門学校
就職希望者数	45名	77名	65名	73名
就職決定者数	45名	77名	65名	73名
内 関連業界就職者	45名	77名	60名	61名
その他業界就職者	0名	0名	5名	12名

(5) 学生募集 (2024年度生)

	学 科	入学定員	入学生	充足率
大阪鉄道・観光 専門学校	鉄道・観光学科	70名	56名	80.0%
大阪ブライダル 専門学校	ブライダル学科	140名	102名	72.9%
大阪外国語・ホテル ・エアライン専門学校	ホテル・エアライン学科 外国語学科	120名 60名	96名 22名	80.0% 36.7%
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	テーマパーク学科	100名	94名	94.0%
	合 計	490名	370名	75.5%

(6) その他

- 私立専修学校専門課程の教員研修と生徒の修学支援に係る体制整備を目的とした「質保証・向上補助金」として、2,960千円を受給することができました(4校合計)
- 株式会社農協観光様主催の「たじまへ行こう着地型商品コンテスト」に4チームが参加し、1チームが優秀賞(作品名:但馬で知る健康美!～からだの内側から健康に～)を受賞しました。(ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪)

### 3. その他の主な事業

#### 1) 長期留学制度

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で年間学費98万円にて、アメリカ（シアトル）、又は台湾へ1年間長期留学できる制度を導入しています。この長期留学により、語学力（英語、中国語）・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。

##### <アメリカ長期留学制度>

2023年度はアメリカ（シアトル）にある提携校を受入先として、52名の学生を送り出しました。

#### 【留学から帰国した学生のTOEIC結果】

	東京	大阪	全体
TOEIC 平均点	611 点	476 点	556 点
渡航前の平均点	421 点	314 点	377 点
平均上昇点	191 点	161 点	179 点
最高得点	845 点	860 点	860 点
最高上昇点	395 点	350 点	395 点

##### <台湾長期留学制度>

2023年度は台湾にある提携校を受け入れ先として2名の学生を送り出しました。

#### 2) 職業実践専門課程

ホスピタリティ ツーリズム専門学校 観光科/ホテル科/テーマパーク科/  
エアライン科

東京ブライダル専門学校 ブライダル科

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪 観光学科

大阪ブライダル専門学校 ブライダル学科

4校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

#### 3) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度（通称：高等教育無償化制度）」の対象校として、本学園が設置する全学校（東京校2校、大阪校4校）が認定されており、東京校112名（授業料減免額47,110,400円）、大阪校119名（授業料減免額52,444,000円）に修学支援を行いました。

#### 4) SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

各学科での学びに加え、国際問題、環境問題、人権問題などを通して、SDGs の担い手を教育の現場から育成することが求められています。その為には、まずは教職員が SDGs に関する理解を深めるとともに、学校教育を通じて学生への指導と浸透の為に活動に学園全体で取り組んでいます。

2023 年度は活動の一環として 10 月 16 日(月)～10 月 27 日(金)の間、東西全学校にて SDGs WEEK 活動として「おにぎりアクション※1」を実施し、1,150 食分の寄付に貢献しました。

※1.「おにぎりアクション」は、日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、「おにぎり」の写真を SNS (Instagram, X(Twitter), Facebook)、または特設サイトに投稿すると、1 枚の写真投稿につき給食 5 食分に相当する寄付(100 円)を協賛企業が提供し、認定 NPO 法人 TABLE FOR TWO International を通じてアフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。

#### 5) 外部監査人による会計監査

内部監査については定期的実施しておりますが、学校法人会計や関連法規等に即した適正な会計処理が行われているかを外部の第三者の専門家(公認会計士)にチェックして頂くことで、学園及び学校としての財務の健全性を確保し、学生・保護者へ安心して学ぶことができる学校として認知してもらう為、外部監査人による会計監査を 4 年連続で実施しました。

#### 6) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミール City 東中野」、「ドミール City 東中野Ⅱ」を外部業者への一括賃貸方式で運営しています。賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

なお、事業用賃貸ビル(法人向け)として運営していた「コーケン関内ビル」は、老朽化の問題等もあり 2023 年 12 月より取り壊しを開始しました。解体後の土地の有効活用や新学校設立などの事業展開を検討していくこととしています。

#### 7) 同窓会奨学金の活用

将来目指す業界においてどのように活躍・貢献したいかの明確なビジョンを持っている旺盛な学習意欲のある在校生をサポートする為、卒業生からの同窓会会費の一部を「同窓会奨学金」(各年次で 5 万円)として、2022 年 4 月より創設しました。2023 年度 1 年生の受給者は 16 名となりました。

なお、本学園の学校教育に賛同される方に広く寄付金を募り、寄付者が税制上の優遇措置を認められる「特定公益増進法人」の認定(2021 年度)を受けています。

#### 8) グローバル化の推進

観光・ブライダル業界の第一線で活躍する人材を輩出するリーディングスクールとして、競合他校との明確な差別化をより一層推し進めていく為のグローバル展開を推

進んでいます。2024年度生より実施する全校全学科1年生を対象とする英語学習に特化した1ヵ月間国内留学制度のプログラムを構築し、2024年5月から御殿場イングリッシュキャンプ（本学園所有の宿泊研修施設）で運用を開始します。

希望制である長期留学制度においても幅広い選択肢を追加することとし、2026年度プログラム開始に向けて、諸外国の大学との提携契約を予定しています。

9) 能登半島地震への災害支援

2024年1月1日(月)に発生した能登半島地震の災害において、被害に遭われた皆様を支援するため、役員・教職員並びに卒業生同窓会からの義援金140,904円を日本赤十字社へ寄付させて頂きました。

10) ハラスメント防止への取り組み

すべての教職員と学生等の人権が尊重され、ハラスメントのない環境で教育しやすく、働きやすい職場を守ることを目指す為、2022年4月1日よりハラスメントの防止等に関する規程及びガイドラインを策定し、学内での啓蒙活動に努めています。

#### 4. 法人名・学校名の変更と学園理念・行動指針の改定

2023年に学校創立50周年を迎え、今後の100周年に向けて新たな歩みを進めるべく、2024年4月1日から法人名・学校名の変更、及び学園理念・行動指針を改定することとしました。

法人名	学校法人ホスピタリティ学園 (旧法人名 学校法人トラベルジャーナル学園)		
設置校	エアライン・鉄道・ホテル・テーマパーク専門学校東京 (旧校名 ホスピタリティ ツーリズム専門学校) 東京ブライダル専門学校 大阪鉄道・観光専門学校 (旧校名 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪) 大阪外国語・ホテル・エアライン専門学校 (旧校名 大阪ホテル専門学校) 大阪ブライダル専門学校 大阪テーマパーク・ダンス専門学校		
学園理念	世界観を持ち、おもしろいのある人財を育む		
行動指針	「頭で考える」 視野を広げる 向上心を持つ 教育を探求する	「心で感じる」 認め合う 助け合う 高め合う	「体で表現する」 一人一人が努力する チームの力を最大化する 成長し続ける学園を創る

## 4. 財務の概要

### (1) 決算の概要

#### ① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は23億2,112万円、予算比で1億470万円増加し、事業活動支出計は23億224万円、予算比で3,397万円減少しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は1,888万円、予算比で1億3,867万円の増加となりました。

#### 《教育活動収支》

教育活動収入計は21億9,707万円、予算比で3,026万円増加し、教育活動支出計は22億3,970万円、予算比で9,651万円減少しました。その結果、教育活動収支差額は▲4,263万円、予算比で1億2,677万円増加しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、進級者が予測数より増加したため、20億5,435万円となり、予算比で2,790万円増加しました。
- 2) 手数料は、入学検定料において受験者が予想数より減少したため、1,539万円となり、予算比で145万円減少しました。
- 3) 経常費等補助金は、「高等教育の修学支援新制度」(通称：授業料無償化制度)の対象者が減少したことにより、予算比で965万円減少しました。
- 4) 雑収入は、2年生から徴収している卒業アルバム代を会計処理の変更により卒業アルバム制作費用と相殺しなかったこと、及び消費税の還付が発生したことなどにより1,938万円となり、予算比で1,341万円増加しました。
- 5) 人件費は、教職員の退職・休職による補充を行わなかったことにより、8億6,109万円となり、予算比で1,743万円減少しました。
- 6) 教育研究経費・管理経費は、光熱水費においては電気代等の高騰を予想して予算編成をしましたが、予想以上に高騰しなかったこと、奨学金は上記3)の通り対象者が減少したこと、広報費は学生募集における一部媒体の出稿時期が次年度に変更となったため減少し、合計13億7,738万円となり、予算比で8,032万円減少しました。

#### 《教育活動外収支》

教育活動外収入計は1億2,393万円、予算比で8,432万円増加し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は1億2,393万円となりました。

#### 《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は8,130万円、予算比で2億1,109万円増加しました。

#### 《特別収支》

特別収入計は12万円、予算比で988万円減少し、特別支出計は実習室の改修や

空調設備の入替などにより除却費用 6,254 万円が発生した結果、特別収支差額は▲6,242 万円、予算比で 7,242 万円減少しました。

② 貸借対照表の状況

土地および建物は、英語に特化した国内留学制度用の宿泊研修施設（御殿場イングリッシュキャンプ）を取得し、改修も実施したため増加しました。その取得資金として施設拡充引当特定資産を取り崩しました。

③ 収益事業の状況

ドミール City 東中野、ドミール City 東中野Ⅱ、コーケン関内ビルの 3 棟の賃貸事業に関わるものです。3 棟のうちコーケン関内ビルは老朽化の問題等もあり賃貸事業を取り止め、2023 年 12 月より建物を取り壊しております。

売上高は 9,562 万円、販売費及び一般管理費は 7,230 万円、営業外収益は 109 万円となりました。その結果、経常利益は 2,441 万円となりましたが、コーケン関内ビルの賃貸事業の取り止め及び建物の除却に伴う費用を特別損失として計上したため、税引前当期純損失は▲218,982,588 円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算式	2023年度	全国平均※3	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	88.5	78.3	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	37.1	41.2	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{経常収入}}$	59.3	49.8	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産 ※1}}$	10.9	19.9	低い方が良い
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金 ※2}}{\text{前受金}}$	499.8	286.3	高い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 現金預金には特定資産を加算している。

※3 2021 年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）